

# 体験活動参加型＋在宅取組型（小学校）

学校名等	御嵩町立御嵩小学校
実施日時	令和元年の夏休み期間
会場	各家庭
参加人数	一家庭一実践：473 家庭・弁当の日チャレンジ：71 家庭
学習課題（分野）	『親子で一緒に！！』を合言葉に、自己肯定感を育む ～家族で決めたテーマに取り組み、親子のふれあいや会話を大切にしよう～
運営者の願い	各家庭・子どもに合わせた目標やプランを立て、我が子と向き合い、親子で一緒に取り組みふれあう楽しさを感じさせたり、達成感や自己肯定感を身につけさせたりしたい。

## 学習の内容

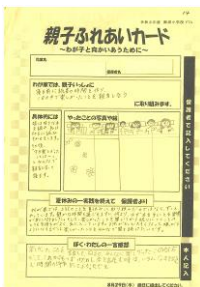
### <取組の内容>

◆毎年夏休みに、全家庭対象として「親子ふれあいカード～わが子と向かい合うために～」という一家庭一実践の取組を10年以上前から継続して行っている。

また、5・6年生は、「弁当の日チャレンジシート」も同時期に配布し、どちらかを提出してもらっている。（両方提出も可）



### PTA 学習委員長の選んだ Best3



読み聞かせをした後に、「今日楽しかったことは～」とみんなで報告しあって寝ます。（母）

**あったか家族賞**



お父さんのために、考えて作りました。お父さんがおいしいと言ってくれたのでうれしかったです。（子）

**パパ感動で賞**



1日1つずつ、夏休みが終わっても家族で楽しく続けたいね。（父）

**ふれあい健康賞**

あたたかい親子のふれあいを、たくさん発見できました！！



（御嵩町のシンボルキャラクター ミーモ君）

### <取組の紹介>

◆各家庭で、親子で考え取り組んだ「世界に一つだけの宝物」なので、11月の授業参観日に合わせ、児童玄関横の廊下にすべての取組を掲示し、児童や保護者の皆さんに紹介した。

### <取組後の感想>

◆全員分掲示されていてとても迫力がありました。

いろいろな取組があって、来年の参考にもなりました。

◆忙しい毎日の中でも、こうして子どもと向き合い、一緒に活動することで、わが子の新しい一面が発見でき、会話も増えて楽しかったです。

◆お弁当はいつも母に作ってもらっていたけれど、自分で作ってみたら大変さも分かり、ありがたく思いました。

### <取組の成果>

◆子どもが家族から感謝されることで達成感や満足感を得たり、自分も家族にとって大切な存在だと感じたりすることができ、運営側の願いが達成できた。

◆各家庭で子どもに合わせて内容やレベルも決められるので、無理のないところで取り組むことができ、毎年継続的に続けることができています。



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動



0歳から15歳まで

つながる家庭教育

◆乳幼児期から一家庭一実践活動を継続して推奨しているため、わが子の成長に合わせた取組の内容を決めやすい。

◆子どもが積極的に取り組めるように兄弟姉妹それぞれに合わせた内容で自分の役割を決められるので、一人ひとりが達成感を味わい易い。

◆「我が家の自慢のカレー」というテーマで一家庭一実践を行っている幼稚園もあり、食育に対する意識が高い家庭も多い。



家庭の都合に合わせ易い「在宅取組型」

◆参加・体験型では都合が合わない家庭でも、家族の都合に合わせて取り組めるので、無理なく積極的に行える。

◆過去に冬休みを利用して冬の折り紙を親子で楽しみ、休み明けに集めて一つの飾りにした保育園もあり、在宅型も浸透している。

学習委員会で

全家庭の取組を掲示

◆それぞれの取組は世界に一つだけの家族の宝物なので、今回初めて全家庭の取組を廊下に掲示し、授業参観日に見られるようにした。

◆児童同士も取組について休み時間に盛り上がるなど、掲示による満足感もあった。

